

異常気象対策に 緑肥とセツトで土作り

毎年発生する集中豪雨からの回復には、水はけの良い土壌への改善が非常に重要です。機械での硬盤破壊作業もありますが、緑肥栽培は根の伸長による土壌の硬盤改善効果があり、有機物投入の観点からも全国各地で多く導入されています。

すぎ込まれた緑肥は十分に分解されないと次作に窒素飢餓や立枯病などを誘発する恐れがあります。微生物資材「コフナ」は植物繊維質を分解・腐植化する好嫌気性の微生物を多く含み、プラウ耕ですぎ込まれた深層部の有機物もしっかりと分解します。

緑肥や前作残さなど有機物をエサに土壌微生物が多様化・活性化し、静菌作用も高まり、分解された有機物は腐植として土壌の団粒構造に関わり、物理性の改善を促します。

緑肥栽培の土づくりパートナー

好嫌気性複合微生物資材

COFUNA®

緑肥を上手く使いこなす微生物資材



- 十分な緑肥分解の期間がとれない
- 地温が低く、緑肥の分解が心配
- 土壌深層部の緑肥が上手く分解されていない

こんな時はコフナで次作までに分解促進・腐植化!!

<http://www.cofuna.jp>

コフナ農法普及協議会 事務局/ニチモウ株式会社内
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20-2 (天王洲オーシャンスクエア) E-mail info@cofuna.jp

電話 03-3458-4369 ファックス 03-3458-4329